

レスク

再生可能エネルギー分野でグローバルリーダーを目指す

2009年1月に鈴木大介代表が設立したレスク（RESC）の社名はRenewable（再生可能でクリーンな）、Energy（エネルギーを有効活用する）、Systems（システムを提供する）、Corporation（ベンチャー企業）という意味から付けられた。同社は現在、世界的ブームになりつつある新世代の乗り物、電動スクーターの開発、製造、販売を主軸に事業展開を始めている。

電動スクーター「スカルピーナ」は、2006年よりイタリアで開発が始まり、2010年の秋より日本で先行販売されている。また2011年秋からは、3輪タイプの「エコキャリー」も法人販売、リース向けとして新たに追加された。この「エコキャリー」は2012年8月より、宅配ピザチェーン「ピザハット」でモニタリング導入も実施されている。同社の電動スクーターは取り外しが可能なカセット型リチウムイオン・バッテリーを搭載。取り外したバッテリーはキャリーバックスタイルなので手軽に持ち運びが可能。また事前に用意したスペアと交換すれば、充電時間にとらわれずすぐに次の配達に移ることができる。更に、バッテリーにイ

互換性のあるカセット型リチウムイオン・バッテリー活用製品



ンバータを接続して非常用のポータブル電源として利用できる。同社は電動スクータービジネス以外にも、蓄電池システムや充電ステーションなど、世界的に取り組みが行われているスマートグリッド関連ビジネスにも着手している。今後は、カセット型バッテリーをアシスト自転車、超小型EVなどにも使えるような高い互換性を維持しながら、ユーザーにレンタルで提供する予定。更に蓄電池にもなる充電ロッカーや小売店などで無制限交換できるインフラを構築することで、新たな事業展開を計画している。

【会社概要】

レスク 代表・鈴木大介
〒150-0012
東京都渋谷区広尾1-11-2-707
☎03・5422・8551
URL <http://www.rescgroup.com>